

## 女性協議会

## 拡大常任委員会開催

## 全国から集合！

3月17日(土)に、東京・民放労連本部の会議室にて民放労連女性協拡大常任委員会が開催されました。

会議には全国の地連の女性協メンバー一四人が参加しました。



湯山さんのお話、ご指摘を聞く

今回の会議ではトークゲストとして著述家・ディレクターとしてジャンルを問わずご活躍中の湯山玲子さんをお招きし、講演をしていただきました。湯山さんからは、ご自身が出版・広告メディアの組織の中で女性として働いてこられ、またテレビ番組にコメンテーターとして出演されている視点から、テレビメディアを「巨大な村」に例え、村の悪しき習慣とその改善策についてお話しいただきました。女性の働き方

という点では、現状の子育てについてのルールがフェアではなく、ライフステージの異なる社員全員が同じルールで働くことができ、男性の労働時間が減った分減少する労働力を女性が生み出すような環境が必要なのではないかとのご指摘がありました。

また会議では常任委員及び各地連のメンバーから2017年末闘争の成果及び現状の問題について報告がありました。女性に関する成果としては、女性専用休憩室の新設や使いやすい環境づくりが推進されたとの報告がありました。また、各局で30代、40代の社員の転職が増えてきており、中堅とされる世代の人材不足が深刻化している現状が浮き彫りとなりました。新入社員の内定辞退が年々増加しているなど、今後人材不足の問題が進んでいくことが懸念されました。

最後に会議では次回開催の「全国女性のつどい」についても協議されました。今年6月23日(土)24日(日)に、「熊本市国際交流会館」にて開催されます。基調講演には元・慈恵病院の看護部長で「このとりの

のゆりかご」の開設に携わってきた田尻由貴子さんをお招きし、現代の女性、家族の絆、地域の絆について講演していただきます。また分科会の講師として、マ防炎士の柳原志保さん、熊本在住七男三女のお母さんである岸信子さん、日本の初め、冷え性外来・を作られた女医の渡邊賀子さんの登壇が決定しています。バラエティに富んだ講師陣による貴重なお話が目白押しです。みなさんご参加をお待ちしています。